

各位

本店所在地 東京都千代田区麴町2丁目4番地
会社名 そーせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)

代表者 代表執行役社長 CEO ピーター・ベインズ
問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部 伴瀬晴美
電話番号 03-5210-3290 (代表)

子会社 Heptares 社とペプチドリーム社、炎症性疾患に対する治療薬の研究開発・商業化を 目指した戦略的提携契約を締結

当社子会社 Heptares Therapeutics (ヘプタレス・セラピューティクス、以下、「Heptares 社」)は、東京に本拠地を置く上場バイオ医薬品企業のペプチドリーム株式会社(以下、「ペプチドリーム社」、証券コード：4587 東証一部)との間で、炎症性疾患の治療において重要な役割を持つGタンパク質共役受容体(GPCR)を標的とする新規治療薬の研究開発・商業化を目的とした、戦略的提携契約を締結しましたのでお知らせいたします。

このコラボレーションでは、両社のもつ業界屈指のプラットフォーム、および前臨床・臨床段階における開発力を結集します。Heptares 社は、両社が選択したGPCRターゲットに対して、同社のStaR®プラットフォームおよび3次元構造に関する知見を用いた研究を行う予定です。ペプチドリーム社は、独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS (Peptide Discovery Platform System) の技術を用いて、GPCRターゲットに対する特殊環状ペプチドを特定し、更なる開発のためにヒットペプチドもしくは低分子薬を最適化します。革新的な治療薬を臨床の場に届けるために、有力な手掛かりに対しては両社が有する相互補完的なスキル、リソース、開発力を活用し、取り組みを進めます。本契約の下、両社は共同で研究開発プログラムを実施し、そのコストを分担し、得られた全ての製品を共同所有します。これ以上の財務上の詳細につきましては非開示とさせていただきます。

Heptares 社 CEO であり、当社チーフ R&D オフィサーであるマルコム・ウィアーは次のように述べています。「当社とペプチドリーム社が双方の技術を持ち寄るこのコラボレーションで、選択されたGPCRを標的とした新薬研究開発の有力なアプローチが見出されることを期待しています。世界屈指の技術にアクセスできることにより、当社の開発力を強化・補足するこのコラボレーションは、自社独自で開発を進めることができる生物学的製剤から成る高価値のパイプラインの研究開発・商業化を目指す当社の戦略の重要要素となるでしょう。」

ペプチドリーム社の代表取締役社長である窪田規一氏は次のように述べています。「世界屈指のGPCRを

標的とした技術を持つ Heptares 社と、重要な標的に対してファースト・イン・クラスの医薬候補品の共同研究開発を目的とした契約を締結できたことを嬉しく思います。このたびの戦略的コラボレーションを通して、当社が Heptares 社のような世界レベルの会社と提携を結び、お互いの技術を活用しながら、戦略的・自社開発パイプライン拡大を促進する機会が増えれば幸いです。」

当期の業績への影響は軽微です。

<ご参考>

Heptares 社について

Heptares 社は、広範囲のヒト疾患に関連する 375 個の受容体のスーパーファミリーである G タンパク質共役受容体 (GPCR) を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であった GPCR を標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチを使用して、同社はアルツハイマー病、統合失調症、がん免疫療法、片頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しています。

Heptares 社は新規開発候補品や技術提供について、既に Allergan 社、AstraZeneca 社、第一三共株式会社、Kymab 社、MedImmune 社、MorphoSys 社、Pfizer 社、Teva 社等をはじめとする大手製薬会社やバイオテクノロジー企業と提携しています。

Heptares 社はそーせいグループの 100%子会社です。詳細については、www.heptares.com と www.osei.com をご覧ください。

そーせいグループ株式会社について

そーせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発のバイオ医薬品企業です。そーせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、www.osei.com をご覧ください。

ペプチドリーム株式会社について

ペプチドリーム株式会社は、「日本発、世界初の新薬を創出し社会に貢献したい」という現社長窪田と現社外取締役菅（東京大学大学院教授）の共通の夢から、平成 18 年 7 月に設立されました。独自の創薬開発プラットフォームシステム：PDPS (Peptide Discovery Platform System) を用いて、極めて広範囲にわたる特殊ペプチドを多数（数兆種類）合成し、高速な評価を可能にすることで、創薬において重要なヒット化合物の創製、リード化合物の選択、並びにファーマコフォアの理解を極めて簡便に、かつ、効率的に行えるようにしました。ペプチドリーム株式会社は、特殊ペプチドを用いた創薬企業の世界的なリーダーとして世界中の病気で苦しんでいる人々に画期的新薬を提供することを使命として、研究開発に取り組んでおります。詳細については、www.peptidream.com をご覧ください。